

News Letter

発行：公益財団法人スペイン舞踊振興 MARUWA 財団 〒105-0014 東京都港区芝3-16-13 MARUWAビル 2階
TEL：03-5419-6513 FAX：03-5419-6514 URL：http://www.mwf.or.jp E-mail：info@mwf.or.jp

令和7年度 事業状況のご報告

平素より当財団の活動に深いご理解とあたたかいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。2025年度もスペイン舞踊の魅力と芸術的価値を広く伝え、日本のアーティストを支援すべく、ワークショップ事業、コンクール事業、助成事業に取り組んでまいりました。ひとえに、皆様のご厚情とご協力の賜物と、深く感謝申し上げます。

ワークショップ事業では、この度スペインより著名なウルスラ・ロベス氏を講師にお招きすることとなりました。来年2月1日～2月5日に東京、2月6日～11日に名古屋でワークショップを開催します。実に20年ぶりの来日となるウルスラ氏。彼女の豊かな表現力と深い芸術性に直接触れるまたとない機会です。多くの方のご参加をお待ちしております。

隔年開催のCAFフラメンコ・コンクールは、今回で13回目を迎えました。9月に一次予選（ビデオ審査）、12月7日（日）にMARUWA財団スタジオ CASA DEL ARTEで二次予選を終えました。来年1月31日（土）に劇場 北千住 Theatre1010で本選を開催致します。エキシビジョンでは、過去の優勝者の作品披露、ウルスラ・ロベスの演技にご期待ください。

令和8年度の助成応募期間は来年1月8日（木）～2月5日（木）となっております。国内で実施される意欲的で芸術的価値の高い作品を支援してまいります。ご応募お待ちしております。

引き続き、スペイン舞踊のさらなる発展と、舞踊芸術を通じた文化交流の促進に努めてまいります。2026年も変わらぬご厚誼を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



ワークショップ参加者の報告書

講師マリア・モレノのクルシージョの参加者より報告書を頂きましたので、ご報告いたします。

「念願だったマリア・モレノのクルシージョ」

田村 陽子

念願だったマリア・モレノのレッスンを初めて受講することが出来ました。

スペインに滞在しているときに何回かチャンスがありましたし非常に評判が良いのですがなかなかご縁がありませんでした。MARUWA財団で招聘されるという事でありがたく参加しました。

私にとってクルシージョは情報を取り入れる“インプット”の時間。その時に自分で出来るかどうかは関係なく、為になる多くの情報を求めます。一言も聞き逃さない、一瞬も見逃さない！という思いで参加します。そして目を皿のようにして集中し、見て驚いたのがマリアはまるで何もしていないかのように見えたことです。すべての動きが体の中心部から発生されていて自然につながっているのです。不自然な流れが一切ないので心地よく目と耳にそして心に届きます。圧倒的な体幹と技術に魅了されました。間近で観察できるからこそその事が分かりました。隙のない muy flamenco な動きには周囲の時間が止まってしまったかのような感覚がありました。複雑なパソの時には分解して何回も反復練習をして少しずつ足していつか気づいたら出来ている。「今日できなくても明日できるかもしれない。明後日かもしれない。」とご自身の経験を交えて生徒を励ます姿勢は感動的でした。私も指導する立場にある者として見習いたいと思いました。

休憩時間には若い女性らしく可愛らしい人柄が見えて親近感が湧きました。日本が大好きだと言ってもらえたことも嬉しかったです。彼女をはじめ素晴らしいアーティストの方々のレッスンを日本で受けられることに深く感謝申し上げます。次回も楽しみにしています。



撮影者：財団スタッフ

海外派遣 研修生の報告書

CAF フラメンコ・コンクール入賞者より海外研修の報告書が届きましたので、ご報告いたします。

第12回 CAF フラメンコ・コンクール準優勝 久保田 晴菜

2025年8月から5週間、スペイン・マドリッドに研修に行かせていただきました。マドリッドは、幼いころから母と一緒に訪れたり、2013年に初めての1年間の長期留学に選んだ都市でもあります。2年前のMARUWA財団様の海外派遣研修でもマドリッドを訪れており、研修先のアモール・デ・ディオスに行くと、先生たちやディレクターのホアキン、以前のクラスメイトなど、本当にたくさんの方が「おかえり」と出迎えてくれ、私にとってはまさにスペインでのホームといった場所です。数年前まで、夏のスペインは、先生たちもバカンスに出かけ、クラスもほとんどお休みにしているところが多かったのですが、いまではその時期にスペイン国内外からたくさんの生徒が集まるので、精力的にクルシージョを開催している先生も多く見受けられます。事前にスケジュールが立てやすいことや、レベルによるクラス分けなどもあり、短期間で集中してクラスを受講できる等のメリットが多くあると感じています。日本出発前は、スペインの夏の暑さも心配していましたが、最初の1週間こそ厳しい暑さでこの先どうなるのかと心配していましたが、それ以降マドリッドは急激に気温も下がり、報道で見聞きする日本の暑さとは対照的で、スペインに避暑にやってきたのかと思うほど快適に過ごせました。今回は、夏のクルシージョ「VERANOS FLAMENCOS」に参加いたしました。本クルシージョは、アルフォンソ・ロサ、マリア・フンカルが主催していますが、2人以外にも8名のゲスト講師によるクラスやショーがあり、目まぐるしく毎日が過ぎていきました。マリアのクラスは、留学当時1年間受講し続けたクラスでしたが、サバテアードとブラソの基礎を徹底的に突き詰め、肉体的に自分を追い込む感覚が久しぶりで、細胞1つ1つが活性化して喜んでいるように感じました。アルフォンソのクラスは2年ぶりの受講でしたが、歌を聞き、自由にコンパスの中で表現するための、たくさんの引き出しを与えてくださいました。いかにしてチョイスし、自分の表現にしていけるかはこれからの課題です。また、彼のスタイルに幅と奥行きがさらに加わったのも印象的でした。これまで私自身も若さ体力に任せて無我夢中で踊ってきましたが、今後どのように深みと余白を生み出すことができるのか、身近で感じ考えさせられる時間でもありました。ラファエラ・カラスコ、コンチャ・ハレーニョといったゲスト講師の先生方からも様々なエッセンスを吸収し、クラスのメンバーとも切磋琢磨しあい、密度の濃い時間を過ごせたなと思っています。また、劇場公演にもたくさん足を運ぶことができ、中でもエバ・ジェルバブレナの公演は圧巻でした。劇場公演ともなると様々な楽器・舞台装置の使い方、作品のコンセプトや演出も気になるころではありますが、純粋に踊りで魅せる圧倒的なパワーに驚かされました。短い期間ではありましたが、今回の研修で「踊り続けることの意味」と「技術を磨くことの先にある“生き方としての踊り”」を感じることができました。また、やっぱりフラメンコが好きという気持ちを再確認できる大切な時間にもなりました。今回の学びを糧に、これからも精進していきたいと思っています。



撮影者：veranos flamenco

令和6年度助成作品のご報告

令和6年度助成作品の以下の3作品より公演の感想が届きましたので、ご報告いたします。

「中里眞央フラメンコリサイタル Vol.1 「Hacia Adelante—私の中の私—」

2024年9月20日 Show レストランガルロチ

中里 眞央

フラメンコ舞踊を学ぶ中で自然とカンテも勉強するようになり、様々なコンクールに歌と踊りの両部門で挑戦し、この度初めてのソロリサイタル開催するはこびになりました。無事終演することができましたこと、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

フラメンコの作品を発表する中で最も重視したいものを「音」と考えており、尊敬するヘレスの歌手アントニオ・マレーナ氏の息子であり、たぐいまれなる音楽センスとこだわりを持ったギタリスト、マレーナ・イーホ氏を招聘し本公演を開催いたしました。更に、信頼するギタリスト齋藤誠氏、歌手手にデイエゴ・ゴメス氏、パーカッションに岩月香央梨氏、パルマに関祐三子氏、小西みと氏、さらに振付もしてくださった師匠・佐藤浩希も加わり、最強の布陣で挑むことができたことを嬉しく思います。



撮影者：© Hiroyuki Kawashima

ありがたいことにチケットは即完売になり、当初想定していた座席数を最大まで増やして超満員での実施となりました。たった一人で舞台を率いることは恐ろしくもありましたが、ミュージシャン、スタッフ皆様様の支えもあり、また、音楽が鳴って会場に入った瞬間のお客様の温かさに助けられ、踊りきり、歌い終ることができました。

渡西を重ね、ヘレス・デ・ラ・フロンテラで作上げた本作品は私にとって宝物です。

一人のアーティストが歌って踊る舞台はスペインでも類を見ないものだとの評価もいただき、独自のスタイルとして今後も続けていきたいと強く思います。

重ねてになりますが、この度ソロリサイトを実現できましたことに心より感謝申し上げます。

「Célula PARADERO ～古びた靴の導き～」

2024年12月7日 MI PATIO (名古屋市千種区)

鬼頭 幸穂

この度私たち Célula の初作品「PARADERO ～古びた靴の導き～」を無事開催することができましたことをご報告させていただきます。またこちらの公演を開催するにあたり助成いただきました MARUWA 財団様、また関わってくださった全ての皆様がこの場をお借りして、厚く御礼申し上げます。こちらの公演は、2024年7月に荒濱早絵、川松冬花、鬼頭幸穂、佐藤陽美、中里真央、脇川愛の6名により結成されましたチーム「Célula」が主催運営、また振付や演出も自分達で制作するという全員にとって新たな挑戦となる舞台作品であったため、スタジオの練習以外でも何度も企画会議を重ね、入念に話し合い準備をしておきました。今回の作品はストーリー仕立てになっており、ストーリーの制作はメンバーであり漫画家という顔も持つ川松冬花が当公演の為に漫画を描きおろし、その漫画を元の舞台制作をしておきました。当公演が開催された会場「MI PATIO」は映像を投影し舞台とのコラボレーションが可能な特殊な紗幕が常設されており、その紗幕に漫画などを投影しその映像を活かす照明づくりや展開など通常ではできない演出、また今回ご出演いただきました素晴らしいミュージシャンの、斎藤誠さん、遠藤郷子さん、森川拓哉さんとの音楽づくりも、アドバイスや素敵なお提案をいただきながら進めてまいりました。過去に上演歴の無い作品であるが故に演出も構成も固定概念無く制作することができるとは、新たなものを創り出さなければならない、という思いが全員にあり振り付けや構成については特に時間と情熱をかけて話し合いながら創ってまいりました。まだまだ拙い部分もある私たちですが、今回の経験を活かしました新たな作品作りに挑戦していく為に、より一層絆を深め精進して参る所存でございます。また新たな作品も皆様にお見守りいただけましたら幸いです。最後になりましたが、改めましてこの度助成していただきました神戸様はじめ、MARUWA 財団様、ミュージシャンの御三方、支えていただいたスタッフの皆様、そして当公演へ足をお運びくださったお客様に心から感謝申し上げます。この度は、誠にありがとうございました。



撮影者：佐藤 尚久

「En Silencio ～静寂なる祈り～」

2024年12月15日 盛岡劇場メインホール

2024年12月18日 心齋橋パルコ SPACE14

2024年12月19日 中野 ZERO 小ホール

中田 佳代子

日本3都市ツアー公演を、誰も怪我也病氣も無く、無事全公演を終えられたことをとても感謝しています。無茶苦茶なスケジュールだということが分かっていたものの、とにかく「やる」という選択肢しかなかったのです。ご協力、応援して下さいました皆様、本当にありがとうございました。

今回の作品のテーマ「戦争と平和」。テーマが重すぎて、それを舞台作品にすること自体抵抗がありました。なぜかという、たった1人の普通の何の影響力もない私のような人間が伝えられる内容ではないかと思っていました。しかし劇場公演は莫大な資金がかかるので、集客などを考えれば楽しい内容の作品にした方が精神的・経済的負担がなく公演に望めるので、今回の内容は私にとってあまりにもリスキーでした。

2014年からジャーナリストであるパートナーの仕事の通訳と助手として広島と長崎で戦争体験者の取材をして参りましたが、今年再度10年前の取材した方々にお会いしたいとアポイントしたところ、半分以上の方々がすでに亡くされていました。その時、取材させていただいた全員が必ず口にする、「平和」を望むその声、世界に届かなくなってしまう恐怖を感じました。スペインのワークインプログレスでサバデルの小学校の高学年の前で今回の作品の一部を見せる機会がありましたが、「HIROSHIMA, NAGASAKI」この2都市の名前さえ誰も知りませんでした。この人は何を伝えたいのだろう？という感覚で私を見ていました。その時、彼らのその「声」を知っている私が、自分の体を通して何かをつたえることができないだろうか？そのように考えるようになり、覚悟を決めた上で、私



撮影者：川尻 敏晴

はアーティスト（表現者）として、自分の伝えたいことを舞台上で伝達する道を選びました。

作品を創る上で、大事な共演者をスペインの一流の歌手とギタリストであるダビ・ラゴス、アルフレッド・ラゴスに懇願したのは理由がありました。彼らがスペインで同じような「スペイン内戦」の歴史をフラメンコで作品にしているのを知っていたので、彼らならこの重いテーマでも誠実に対応して下さるに違いない、という直感がありました。しかしながら、あまりにも雲の上の人たちなので、メッセージを打っては消し、打ってはけし、結果思い切って連絡するのに何ヶ月間もかかりました。

そして、三味線の本條秀慈郎さん。ネットで彼の動画をたまたま発見し、暗いシェルターでの場面での私が表現したい「音」、そのものでしたので、即彼の所属事務所に連絡し、私の熱いラブコールに答えてくださることになりました。

そしてアイヌの歌の床絵美さんは、私が考えている日本人としてのアイデンティティー、プライド、ピュア、祈り、全てのイメージを表現して下さるイメージそのものでした。アイヌ民族は、「食べるものでも、着るものでも全て自然から頂いて生きてきたという感謝を表すのが祈り、踊り、歌といった「祈りと感謝」を常に大事にする日本の先住民族です。出演交渉の為、床さんと電話で1時間以上お話をし、コンセプトを説明し、納得して下さり出演が決定しました。そしてバルマと踊りで出演して下さった三枝雄輔さん。彼は日本フラメンコの守護神と言っても過言ではないくらい、スペインと日本においてオールマイティーで完璧な素晴らしい踊り手・表現者です。コンパスを支える需要人物として、今回の舞台には絶対に欠かせないアーティストでした。この今回の作品の強者共演者の方々、三枝雄輔さん以外初めてご一緒させていただいたので、皆さんほどこの馬の骨だかもわからない私の船に乗ったのはいいものの、公演の2日前まで全貌が見えずに不安でいっぱいだったと思うのですが、私だけが確信を持っていたので、不安はなく、全員通し稽古から環境なく溶け合う文化が心地よく、伝えたいその「声」に近づくたびに身震いしました。

そんなこんなで瞬く間に始まって終わった、命を賭けたこの3公演。たくさんの苦労はありましたが、見に来て下さった皆様の感想などを聞くと、思い切ってやってよかったと本当に思いました。すでに再演希望の声もたくさんいただいており、できれば色々な場所で私たちの平和希求の声を届けられれば嬉しいと思います。

そして最後に。支えて下さった事務局や家族の皆様、この素晴らしい機会を与えて下さった MARUWA 財団の皆様、本当にありがとうございました。物価高などでなかなか劇場公演開催が難しいこの世の中ですが、全ての芸術は平和をもたらすものだと思っていて、これからも自分なりにささやかに活動を継続してゆきたいと思えます。

令和7年度 助成作品報告書

応募者・作品名	決定助成金額	公演予定日
工藤 朋子 工藤朋子フラメンコリサイタル VOL.4 「黒いダイヤ」	130万円	2025年5月8日、9日 於：ムジカーザ（代々木上原）
一般財団法人エルスール財団 野村 眞里子 ロルカ・フェスティバル 2025～ロルカ、その愛と芸術～	80万円	2025年9月13日、10月11日、11月8日、12月13日、2026年1月10日 於：エルスール財団記念館
伊藤 笑苗 伊藤笑苗フラメンコリサイタル『VIDA～賛美～』	50万円	2025年7月5日 於：地中海料理&ワイン show レストランガルロチ
Punto84 ヴォダルツ クララ 道程～そしてここから～	35万円	2025年8月7日 於：セシオン杉並
岡田 麻里 フラメンコ公演 MI AMOR	5万円	2025年5月25日 於：射水市大門総合会館
東京外国語大学スペイン舞踊部・カンテ研究会 「2025年度 東京外国語大学スペイン舞踊部・カンテ研究会 新歓公演」	30万円	2025年4月18日 於：東京外国語大学 アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール
東京大学フラメンコ舞踊団 「東大フラメンコ令和7年度五月祭公演」	10万円	2025年5月24日、25日 於：東京大学本郷キャンパス

令和7年度助成作品は上記7作品に決定いたしました。うち以下の4作品の感想をご報告いたします。

「2025年度 東京外国語大学スペイン舞踊部・カンテ研究会 新歓公演」

2025年4月18日 東京外国語大学 プロメテウスホール 東京外国語大学スペイン舞踊部・カンテ研究会

今回の公演は、去年に引き続き東京外国語大学のプロメテウスホールで行う2回目の新歓公演でした。本部員は留学によって部員入れ替わりが多いため、今回のメンバーでの公演は最初で最後になります。舞台設営や運営など自らで舞台を作り上げるにあたって様々な壁に当たりながらも、みんなで協力して一つの公演を終えることができました。部員が日々の練習の成果を発揮することができたうえ、フラメンコの魅力を皆さんにお伝え出来たと思います。次の舞台の外語祭に向けてこれからも日々練習に励んでいますので応援よろしくをお願いします。



撮影者：富田 菜月

東京大学フラメンコ 令和7年度五月祭公演

2025年5月24、25日 東京大学本郷キャンパス工学部広場ステージ

東京大学フラメンコ舞踏団

このたびは、令和7年度スペイン舞踊、音楽に関する創作活動助成対象作品に選出いただき、ありがとうございます。今年も、無事に五月祭公演を開催できましたことを、ここに報告させていただきます。また、この場をお借りして、本公演にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。今年度の五月祭公演は、入団2年目となる団員が中心となり、4月に入学したばかりの新入生に加え、OB・OGの方々にもご参加いただき、フラメンコの魅力をお伝えできる一層にぎやかで華やかな公演になりました。雨天が心配されましたが、当日は部員一同の熱意もあってか、無事に完走することができました。本公演では、アバニコやパリージョ、コルドベス、さらにマントンといった小道具を使用した楽曲を多く取り入れ、初めてフラメンコを観るお客様にもフラメンコの魅力が最大限伝わるよう、バラエティーに飛んだ演目にいたしました。小さなお子様から、フラメンコに慣れ親しんでいらっしゃる方々まで幅広く、様々な方に見ていただくことができました。慣れないスペイン語でのカンテや、初めてのブレリアのリズム、アバニコの魅せ方など、各々の部員が試行錯誤を行い、汗を流した練習期間でしたが、部員にとって何事にも代えがたい経験になったと思います。今後も、フラメンコの魅力を広め、お伝えできるよう、より一層練習に励んでまいります。あらためて、本公演にご協力いただいた関係者の皆様、ご支援いただいたMARUWA財団様に感謝申し上げます。



撮影者：永野 啓子

工藤朋子フラメンコリサイタル vol.4 『黒いダイヤモンド～ Diamante Negro』

2025年5月8、9日 代々木上原ムジカーサ

工藤 朋子

まずこの場をお借りして、観に来て下さった皆様、支えてくれたミュージシャン、スタッフの皆様、先生方、所属する舞踊団の皆様、そして今回の作品に助成くださいましたMARUWA財団様に心から感謝申し上げます。

あの本番で感じた血流の熱さがまだ身体の中に残っています。プログラムにも書かせていただきましたが、「くちびるにカンテ（歌）を、心にハレオ（歓喜）を」私はこの言葉と共に、フラメンコという魂が共鳴する世界に夢を見続けている「踊る旅人」です。手付かずの更地に新しい道を作るのは容易なことではありませんが、もしかしたら気づいていないだけで、その道のスタートラインに立っているのかもしれないし、歩き始めているのかもしれない、歩いている途中かもしれません。

これからもフラメンコと共に旅を続けていけたらと思っています。本当にありがとうございました。今回のリサイタルを開催出来たことを心から感謝申し上げます。



撮影者：川島 浩之

フラメンコ公演 MI AMOR

2025年5月25日 富山県射水市大門総合会館

岡田 麻里

この度、フラメンコ公演 MI AMOR を無事に開催できましたことを、ここにご報告させていただきます。貴重な補助金を賜り、誠にありがとうございました。地元富山をはじめ多くのお客様にご来場いただき、また地元企業様からもご支援いただき、情熱と愛あふれるステージを届けることができました。本公演は、自身の新人公演受賞記念としてだけでなく、地元で日々フラメンコに向き合っている仲間たち、そしてこれからコンクール等に挑戦していくフラメンカたちとともに創りあげた、まさに挑戦と継承のステージとなりました。経験の差を越えて、一人ひとりが今の自分にできる最大限の表現を目指して努力を重ね、舞台上ではその想いが響き合うような瞬間が何度も生まれました。私自身も、仲間とともに踊ることで改めてフラメンコの力や、舞台を通じて人と心がつながる喜びを実感しました。この舞台を根っこから支えてくれた SIROCO さん、川島桂子さん、徳永健太郎さん、そして地元富山で教室の垣根なく共にこの舞台を作りあげてくれた島田純子さん、寺崎恵子さんに改めて感謝いたします。今後も地域文化の発展に貢献できるよう、精進してまいります。この度は誠にありがとうございました。



撮影者：佐伯 優子

第13回CAFフラメンコ・コンクール本選チケット販売中

[日 時] 2026年1月31日(土) 16時開演

[会 場] 北千住 Theatre1010

[入場料] 4,000円(全席指定)

[チケット取扱い] チケットぴあ t.pia.jp (ご購入時に座席を指定頂けます)

[エキシビジョン出演者] ÚRSULA LÓPEZ、伊藤 笑苗(第11回優勝者)、
鬼頭 幸穂(第12回優勝者)

詳細はHPをご確認ください。



2026年名古屋・東京ワークショップ応募受付中

[講 師] ÚRSULA LÓPEZ

東 京：全クラス 2026年2月1日(日)～5日(木)

名古屋：Cクラス 2026年2月6日(金)～10日(火)

ABクラス 2026年2月7日(土)～11日(水祝)

Aクラス：「ファルーカ」(中上級) 全日 11:00～12:30

Bクラス：クエルポテクニカ(中級) 全日 12:45～13:45

Cクラス：「カラコレス」(中級) 平日 19:00～20:30/
休日 16:00～17:30

[参加料]

[A・C] コース受講：45,000円 / 単発受講：9,200円

[B] コース受講：30,000円 / 単発受講：6,200円



撮影者 Pepe Torres

詳細はHPをご確認ください。

令和8年度助成事業 募集案内

■助成金

〈プロ枠〉総額 300万円 〈学生枠〉総額 50万円

■助成対象

2026年4月1日～2027年3月31日までに終了予定のスペイン舞踊(フラメンコ)やその音楽の普及、向上につながるような個人或いは団体が主催する国内公演、イベント企画(プロ枠)、学校の部活やサークルなど学生が運営する国内公演、イベント企画(学生枠)で、他機関からの助成を受けていないもの。過去に当財団の助成を受けた場合でもご応募いただけます。

■応募方法

当財団ホームページの助成事業のお問い合わせフォーム(<https://mwf.or.jp/contact/>)より「助成応募用紙」をお申し込みください。応募用紙に活動の企画、予算、過去の芸術活動等を要約してご記入の上、台本或いはプログラム構成、過去の公演ビデオ又はDVD(10分間)と共にご郵送ください。

■応募受付期間

2026年1月8日(木)～2月5日(木)【17時必着】

■選考結果

意欲的で優れた公演、イベントの企画に対して、財団の選考委員による厳正なる審査結果を2026年3月31日(火)までに各団体宛に通知いたします。尚、助成金支給は公演終了後1か月以内の報告書、写真、印刷物等の提出により実施されます。

■お問い合わせ先

公益財団法人スペイン舞踊振興 MARUWA財団
〒105-0014 東京都港区芝3-16-13

MARUWAビル2階

Tel.03-5419-6513

Fax.03-5419-6514

E-mail info@mwf.or.jp

URL <http://www.mwf.or.jp/>